

博士人材育成コンソーシアム

Consortium for Career Development of Ph.D.



博士人材育成コンソーシアム
Consortium for Career Development of Ph.D.

参画機関を含めた博士人材育成コンソーシアム全体の活動



3大学が連携する仕組みが整った2014年度から、そこで得られた人材育成のノウハウをより多くの機関と共有し、さらに発展させる活動を開始しました。その結果、2022年度までに10大学が参加機関として加入し、13大学が連携して主に博士人材を育成するコンソーシアムとなりました。13大学で2019年度に授与された課程博士の学位は3,140件で日本全国の授与数の約24%に達します。13大学の構成およびそれらによる活動内容は以下のとおりです。



13大学の構成

- 代表機関** 北海道大学
- 共同実施機関** 東北大学／名古屋大学
- 参加機関** 新潟大学／筑波大学／お茶の水女子大学
東京外国語大学／横浜国立大学／立命館大学／大阪大学
神戸大学／兵庫県立大学／沖縄科学技術大学院大学

その他の機関とも連携し、地域に根差した活動を展開

13大学の活動

活動システムの構築

- ✓ 規模(学生数等)が異なる機関が連携する仕組み
- ✓ 設置が異なる大学(国公私立)が連携する仕組み
- ✓ 遠隔地(北海道～沖縄)の機関が連携する仕組み



北海道大学



東北大学



新潟大学



東京外国語大学



筑波大学



お茶の水女子大学
Ochanomizu University



神戸大学



兵庫県立大学



大阪大学



横浜国立大学



立命館大学



名古屋大学



沖縄科学技術大学院大学

プログラムの共有

- ✓ トランスファラブルスキル向上プログラムの共有
- ✓ 企業と博士人材のマッチングイベントへの学生の相互参加(年間10回実施)
- ✓ 博士向け教育動画の共有(100本以上のアーカイブ)
- ✓ コンソーシアム主催のキャリア教育、支援プログラムの実施

博士人材育成ノウハウの共有

- ✓ プログラムへの教員および学生の相互参加
- ✓ 各大学代表者による専門委員会の開催
- ✓ 連携大学および企業等によるシンポジウムの開催
- ✓ 連携大学および企業等による博士人材育成支援に関する研究会の開催



博士人材育成コンソーシアム

Consortium for Career Development of Ph.D.

『イノベーション創出人材連携育成プログラム』の趣旨



博士人材コンソーシアム専門委員会 コーディネーター
北海道大学 大学院教育推進機構 先端人材育成センター
センター長 吉原 拓也

本コンソーシアムは各大学が保有する博士人材に対するキャリアパス多様化促進に資する各種プログラムの、連携型への移行と発展を推進して参りました。

博士人材はアカデミア志向、つまり研究者として生き抜く場所は大学等のアカデミア機関しかないとの思いが強くなる傾向があります。しかし、産業の高度化、企業活動のグローバル化に伴い、博士人材は産業界でも従来以上に求められるようになりつつあります。また、彼らは博士課程での専門領域で研究をつづけたいという傾向もみられます。社会が彼らに求めている能力は、専門領域での知識や経験よりも、研究の中で獲得した課題発見力や課題解決力等のトランスフェラブルスキルであり、彼らが思うよりも広い領域での活躍が期待されています。

博士人材が視野を広く持ち、獲得した知識やスキルを如何なく発揮できる分野へ積極的に打って出るためには、産業界などアカデミア以外にも挑戦しよう、自分の専門領域以外にも視野に入れてみよう、という彼ら自身の意識改革への取り組みと、そのような活躍の場に関する正確な情報の提供が必要であることは明白であります。

文部科学省の支援を受けて発足した本コンソーシアムの前身の組織では、北海道大学、東北大学、名古屋大学がキャリア教育・支援に関するプログラムを共有する仕組みやそれらのプログラ

ムに他大学の博士人材が参加する仕組みなどを構築しました。連携大学がギブアンドテイクの関係を保ちつつ、他大学の博士人材も自大学の学生と同様に育成する活動に共感した機関がメンバーに加わり、現在は新潟大学・筑波大学・お茶の水女子大学・東京外国語大学・横浜国立大学・立命館大学・大阪大学・神戸大学・兵庫県立大学・沖縄科学技術大学院大学の国公私立13大学が連携するコンソーシアムに成長いたしました。

多くの大学が連携活動するためにはいくつかの課題があります。各大学は博士人材の育成のための経費面や要員面での制約はもとより、立地条件や在籍する博士人材の属性の特徴など、個別の条件も重なって、多方面での施策の展開にはおのずと大学間の差異が生じます。それらの課題解決のため、年に5回程度の専門委員会での情報交換や個別の課題について討議する分科会、シンポジウム等を実施してきました。その結果、毎年、年間100を超えるキャリア教育・支援プログラムが共有され、2022年度からはコンソーシアムが主催する「企業と博士の交流会」を実施することができました。

今後も各大学が保有するリソースを有効活用し、博士人材のキャリア教育・支援を充実して参ります。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

Event Schedule & Activity Report

博士学生募集
13大学合同！
博士向け企業合同説明会 2022*
～博士を求める企業が集結！～

7/11日・7/12日
13:00～17:00

企業50社
博士を特招採用中！

13大学合同！
博士向け企業合同説明会

ブンケイハカセがつくる新しいミライ

2022*12/11 MON.
13:00～17:00

博士人材育成コンソーシアム
シンポジウム

プログラム共有実績



専門委員会開催実績

年5回 各連携大学で実施

企業と大学関係者の意見交換会実績

年1回実施

参加企業	5社程度
参加大学数	13大学

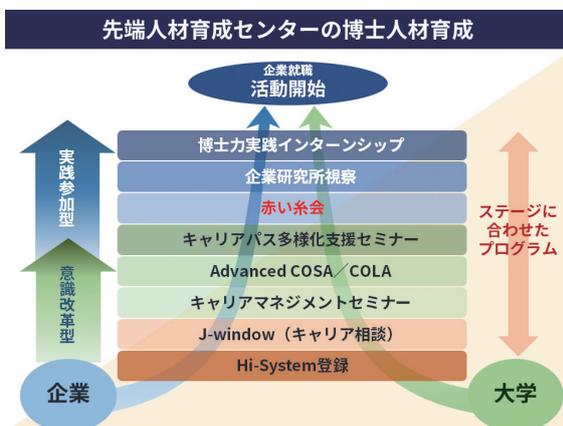
13大学合同！
博士向け企業合同説明会

博士人材育成コンソーシアム
シンポジウム

北海道大学

北海道大学で博士人材の支援を担当しているのは、先端人材育成センターです。当センターでは博士人材のための登録制 WEB システムの構築と、それを介在した各種プログラム（講義やセミナー・演習など）の実施や、企業と博士が交流する赤い糸会、さらには博士力実践インターンシップの支援など多くのコンテンツを提供し、博士人材の社会での活躍を支援しています。これらの施策により博士人材のトランスファラブルスキル向上を図り、最終的には企業やアカデミアでの博士人材の活躍を推進します。

本コンソーシアムではこれらのうち、セミナーなどのオンライン提供、またマッチングイベントなどの共同開催、参加枠提供、相互乗り入れを積極的に推進していきます。



具体的な取り組み

キャリアマネジメントセミナー (企業の研究開発に対する考え方)

大学と企業での研究開発活動における考え方の違いや、企業研究人材として必要なマネジメント、プレゼンテーション、リーダーシップなど、実践的な内容を提供するとともに、企業人を招いての新規事業開発のお話なども聞くことができます。

キャリアパス多様化支援セミナー (博士のキャリア選択の多様性を知るセミナー)

交渉学、プロジェクトファシリテーション、研究力アピール強化ワークショップ等、専門教育とは異なる、理工系の技術者にとって必要な内容を様々な講義、演習によって学びます。これらのセミナーの中でDC・PDが自己分析を行い、キャリア選択の重要性を認識して将来の活躍の場を考える機会を提供する。

具体的に共有・協働可能なものとしては、

- ◎キャリアパス多様化支援セミナー
(単回セミナー；理工系博士の研究職以外のキャリア紹介等)
- ◎キャリアマネジメントセミナー
(前期15回開講；企業の研究開発に対する考え方)
- ◎Advanced COSA
(2日集中；企業の研究開発の実際を知るための企業人によるセミナー)
- ◎Advanced COLA
(半日集中；主に文系博士の社会での活躍を知るための企業人によるセミナー)
- ◎赤い糸会
(オンラインおよび対面；企業人を招いての博士人材との直接マッチング)

などがあります。

Advanced COSA (企業の研究開発の実際を知るための企業人によるセミナー)

現役の企業の研究所長／研究部長クラスの方や若手研究者に企業における研究開発の実際と、自身の研究者としての人生を語っていただく貴重な機会です。アカデミア研究と企業研究の違いや、企業における博士人材の活用や活躍ぶりなどもお話しいただきます。

赤い糸会 (博士研究者と企業の直接交流；マッチング)

対面 オンライン

博士研究者と企業が人数を絞ってオンラインで交流し、お互いの思いをぶつけあいます。企業からは新規テーマや必要とするスキルや博士人材像のプレゼン、博士研究者からは専門性やスキル、人物像まで含めた動画発表でアピールします。その場でインターンシップの内定もあります。



問い合わせ

北海道大学 大学院教育推進機構 先端人材育成センター

TEL 011-706-3275 E-mail s-cubic@synfoster.hokudai.ac.jp

WEB <https://fohred.synfoster.hokudai.ac.jp/s-cubic-guide/>





TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学

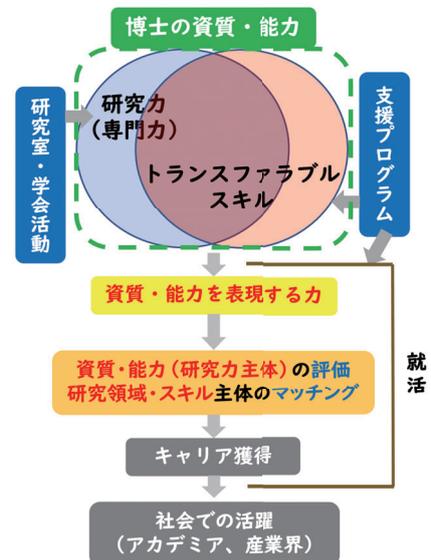
東北大学

博士学生・ポスドクの支援活動の目標

1. 研究力を核とした様々な資質・能力
(トランスファラブルスキル)を向上させること
2. 自立的人材として成長すること
3. 今後のキャリアを具体的に思い描けるようになり、
それを獲得すること
4. 博士としての今後の人生がより充実したものになること



博士のキャリア構築プロセス



具体的な取り組み



博士としての人生をより充実したものにするための支援プログラム

～意識改革プログラム～

博士リテラシーの基礎

専門分野が異なる受講者同士の交流を重視しながら、トランスファラブルスキルの底上げを図る講座です

セミナー／交流会

- キャリアセミナー：企業での仕事の特徴、企業の博士への期待等
- PhDC 交流会：インターンシップ経験者と企業担当者の話、博士の活躍事例、就活体験

個別キャリア支援

一人一人の研究内容・スキル・個性等を考慮しながら、キャリアの検討から獲得まで支援します



博士リテラシーの基礎



～実践参加プログラム～

博士インターンシップ研修

研修希望先の選定、エントリーシート作成、マッチング面談の練習等を支援します

ジョブフェア

博士人材（博士後期課程学生とポスドク）を対象とした企業・法人との交流・情報交換会です
午前の「Dr.プレゼン」は博士人材が自ら研究紹介や自己PRを行います
午後の「企業ブース交流」は企業と情報交換を行います

～その他～

PhDC インフォメーションサービス

学内やCCDP 関連イベント等の情報をメール配信

ジョブフェア



問い合わせ

東北大学高等大学院機構 大学院改革推進センター 博士人材育成ユニット

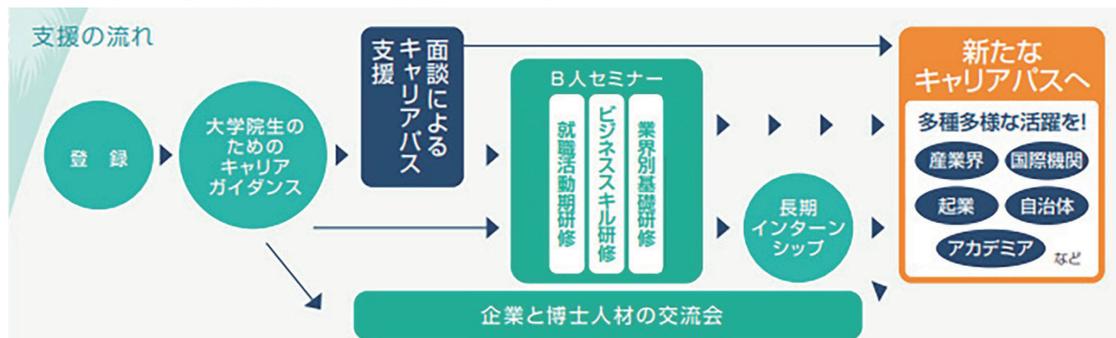
TEL 022-795-3231 E-mail high-ca@grp.tohoku.ac.jp

WEB <https://pgd.tohoku.ac.jp/phdc/>



名古屋大学

名古屋大学 博士課程教育推進機構 キャリア支援・教育部門では、2006年度から博士人材のキャリア支援をしてきました。その経験を元に、博士後期課程学生を中心とした若手研究者のキャリアパス支援(個人面談、セミナー、博士のインターンシップ支援、企業との交流の機会提供)を実施しています。個々がこれからの人生で貢献したいことは何かを検討し、キャリア形成ができるよう支援していきます。他大学から参加出来るものも多数あります。



具体的な取り組み

キャリアガイダンス及び個人面談

博士後期を考えたキャリア形成について、毎月キャリアガイダンスをしています。(他大学からも受講可能)
個人個人に応じた支援が出来るよう、個人面談を重要視しています。面談やメール相談を繰り返し、キャリアプランを明確にしていきます。

博士のキャリアパスウェビナー

博士人材の社会での活躍をするため、OB/OG たちが個々のキャリア形成について語ってくれます。ロールモデルとして参考にしてください。過去の講演もアーカイブとして提供しています。他大学からの参加が可能です。

その他支援

博士のインターンシップの支援、学内外の多様なセミナー情報提供など行っています。

大学院共通教育および体験型講義

トランスファラブルスキルズと呼ばれている、どの業界・職種でも必要であろうと言われている基礎的なスキルの基盤講義と、体験を通して習得する講義を、大学院前後期向けに開講しています。

B人セミナー (大学院生に必要な情報やスキルを得るセミナー)

大学院生に必要な情報やスキルを得るセミナーです。他大学からの受講が可能なものもあります。学生面談や企業との交流の中から、博士人材に必要であろうと思われる内容でセミナーを実施しています。I 就職活動期研修(博士の持っている力を自覚)、II スキル研修(新たなスキルを習得)、III 業界別基礎研修(自身の力を活用できる業界や分野についての情報を得る)の категорияで実施しています。

企業と博士人材の交流会

対面

産業界等への就職を視野に入れ、多様な業種・分野の企業の皆様との情報交換を希望する博士人材(ポストドクターおよび博士後期課程学生)と、博士人材の採用をお考えの企業の皆様との交流の場として、『企業と博士人材の交流会』を年1回開催しています。イベントに参加した企業と博士人材の間に活発な交流が生まれ、その結果として採用(就職)、インターンシップ、共同研究につながることを目的としています。他大学からの参加が可能です。

開催時期 毎年8月下旬に開催

参加博士人材 150人程度 参加企業 50社程度

PRセッション

特設サイト「企業と博士人材のPR サイト」に参加し、企業は博士人材に向けて、博士人材は企業に向けてPRする動画や資料をアップロードし、相互に閲覧します。



交流セッション

博士人材と企業の方が交流します。博士人材編では、博士人材が研究内容や自分自身についてプレゼンを行い、企業の方が質問します。企業編では、各企業が詳細な企業説明を行い博士人材が質問をします。



問い合わせ

名古屋大学 博士課程教育推進機構 キャリア支援・教育部門

TEL 052-789-4914 E-mail hakase-career@t.mail.nagoya-u.ac.jp

WEB <https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/>



新潟大学

新潟大学 PhD リクルート室では博士人材の「キャリア形成」と「研究力の向上」を支援しています。具体的には意識改革型のキャリアマネジメントセミナーやジェネリックスキルセミナーの開講を通じて博士の汎用スキルの向上を促し、キャリア相談、未来の博士ゼミ、PhD リクルートフォーラム、サイトビジット等を通じて、産業界、アカデミア、起業等多様なキャリアを知る機会を提供しています。このように博士のキャリアパスを広げ、「総合知」を兼ね備えた高度な人材を育成するのが当室の役割です。また院生が主体となって運営している「院生会」と連動し、学生間の交流促進にも力を入れています。



具体的な取り組み

産業界・アカデミアの先輩から学ぶ キャリアセミナー

博士取得後に産業界・アカデミアで活躍している先輩をお招きし、学位取得の過程や現在のポストで必要とされているスキルについてお話いただきます。

新潟大学院生会

大学院生が主体となって運営する「新潟大学院生会」。大学院生相互の理解と研究交流を深め、研究、生活等の向上を図ると共に、学問研究の発展の推進力となることを目的として活動しています。



「深い専門性」に加え 「広い汎用性」を身につけるセミナー

ジェネリックスキルを身につけ、キャリアを考える機会を提供していきます。講演のみでなく実践・演習を交えることで実際に活用できる力を身に付けていただけます。

企業を実感するサイトビジット

直接企業を訪問し、実際に勤務している多くの研究者や先輩方と話せるプログラムです。内定に繋がった実績もあります。

博士課程への進学キャンペーン

学部・修士学生に対して講義で支援プログラム等に関する情報を提供することで、魅力ある博士課程を紹介しています。また、中高生とその保護者へ「大学院」「博士課程」という選択肢を知ってもらえるよう、オープンキャンパスへの出展や各校に配布するチラシの作成を行っています。

PhDリクルートフォーラム 対面

博士人材と企業・研究機関とが直接交流できるマッチングイベント「PhDリクルートフォーラム」では、就職のための情報交換はもちろん、企業訪問やインターンシップの実施に向けた具体的な話を進めることも可能です。また事前準備の一つであるプレゼン演習を通して自己PRとなる自分の強みの認識、そして当日のポスター発表では研究に対するアドバイス・フィードバックを獲得できる等、スキルアップや研究活動の推進にも大きく寄与しています。



問い合わせ

新潟大学 大学院教育支援機構 PhDリクルート室

TEL 025-262-7217 E-mail phdrecruit@gs.niigata-u.ac.jp

WEB <https://www.phd.niigata-u.ac.jp/>





筑波大学

博士人材の知と目と心が輝く場を生み出すために。

筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局 (BHE) キャリア支援チームでは各教育組織と連携し、全学的なキャリア形成支援を行っています。博士人材は特に「知のプロフェッショナル」として産業界からも高い評価を得ており、本局が有する産業界との強いコネクションを生かし、大学院生・ポスドクと産業界をつなぐ機会の提供や、本学で学んだ人材の価値を社会へ積極的に発信しています。

具体的には、2021年10月から運用を開始した「若手研究者のためのwebサロンシステム (PhD×FUTURE.)」によって、企業・団体と博士人材の出会いの場を形成することに注力しています。また、OGCS・キャリア開発交流会等のキャリアイベントを通して、博士人材のキャリア形成に有益な知識やノウハウを伝達しています。



具体的な取り組み

▲ 大学院共通科目「博士のキャリアパス」

博士のキャリアについて考える機会を提供
各所から様々なキャリアパスを有する講師を招き、博士課程を通して得られる経験や知識がどのように社会で活用されるのか、また自分の人生を「自分らしく」歩んでいくために今・どうするか考える機会を提供しています。

▲ PhD×FUTURE. を用いた 博士人材と企業・団体の出会いの場の形成

企業と学生のマッチングを支援
本システムでは求人情報の公開やインターンシップの募集などを行うことができます。本システムに登録している本学学生と優良企業が出会い、それぞれの研究体系やビジョンを語り合いながら、新たな価値を創出することが最大の目的です。

PhD×FUTURE.



▲ オンライングループキャリアセッション (OGCS)

キャリア形成に必要な知識・ノウハウの伝達
就職活動の心構えやインターンシップに関する説明を始め、学振申請書の書き方レクチャーといった博士人材向けのキャリアイベントを、コンソーシアム共有プログラムとして実施しています。キャリア形成に必要な実践的な視座を養成することができます。

▲ 産学協働イノベーション人材育成協議会への参画及びジョブ型研究インターンシップの推進

自身の研究と社会が直接的に、かつ実践的に接続する機会を提供するために、博士人材のインターンシップを推進するプログラムにも参画しています。本チームウェブサイトでは参加者の声も公開中です。

＼他にこんな支援も提供しています！／

- ◎ 個別キャリア相談
- ◎ 博士人材だけの企業訪問ツアー
- ◎ OB・OGキャリアカフェ
- ◎ チャレンジ実践会(面接・GD・ES対策講座)
- ◎ 全学向け合同企業説明会・業界研究会 など

問い合わせ

筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局 (BHE)
キャリア支援チーム 若研 web サロン事務局

TEL 029-853-2334 E-mail phd-ss-info@un.tsukuba.ac.jp

WEB <https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/phd-future/>





お茶の水女子大学
Ochanomizu University

お茶の水女子大学

グローバル実践力を備えた共創型博士人材を育成する

「学ぶ意欲のある全ての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」を標語として掲げるお茶の水女子大学では、博士人材のキャリア形成・就職支援を、全学的な協力体制の下に行なっています。

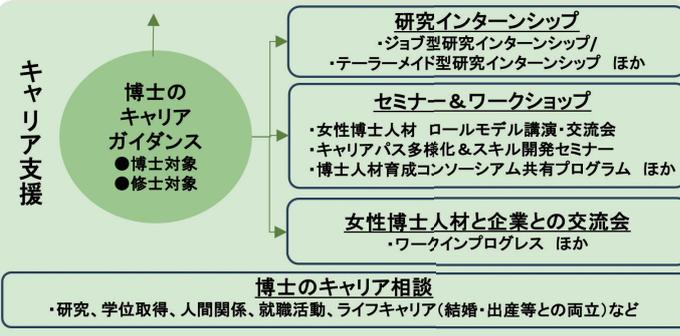
学生・キャリア支援センターと人間文化創成科学研究科との連携体制の下、博士課程の学生専用の相談窓口を常設するとともに、授業科目及びセミナーやガイダンス、研究インターンシップの紹介等を行い、博士人材のキャリア形成を

トータルに支援する体制を整えています。

中でも「女性博士人材と企業との交流会～ワークインプログレス～」は、女性の中長期的なキャリア形成を支援する企業・団体を中心にお招きし、他学的女性博士人材・ポストドクターにも開かれたイベントとして開催しています。

キャリア教育(授業科目:大学院共通科目)

- 「グローバル女性リーダー特論」 ●「キャリア開発特論」 ●「Project Based Team Study I」
- 「プロジェクトマネジメント論」 ●「先端表現情報学特別講義」(東京大学連携) など



グローバル実践力を備えた共創型博士人材の育成

具体的な取り組み

セミナー&ワークショップ

博士後期課程学生のみならず、博士課程への進学に興味を持つ学部生・修士課程の学生を対象としたセミナー・ガイダンスを実施しています。企業・アカデミアそれぞれの就職目標別の支援だけでなく、多様なキャリアパスがあることを知り、進路に関する視野を拡大させるためのイベントも実施しています。特に、数少ない女性博士のロールモデルから直接情報が得られる「女性博士のOG講演・懇談会」は、他学女子学生に広く開かれたプログラムとして展開しています。

研究インターンシップ

文部科学省ジョブ型研究インターンシップや産学協働イノベーション人材育成協議会に加盟し、学生の研究インターンシップへの参加を支援しています。また、参加促進を図る為に、それぞれの団体に参画している企業をお招きし、インターンシップや企業概要のみならず、研究者としての企業での働き方、企業の博士ニーズなどをお話しいただく、学内イベントを実施しています。

博士のキャリア相談

研究やワークライフ、人間関係などのストレスなどに対する心理的支援を含む、今と今後のキャリア形成にまつわるあらゆる悩みにワンストップで対応する博士課程学生専用の相談窓口を設置しています。就職活動支援に関しては外部専門機関と連携し、幅広い求人提供や実践的な応募支援を行っています。

女性博士人材と企業との交流会～ワークインプログレス～

ワークインプログレス (Work In Progress) の副題が示す通り、研究活動の途上にある博士課程の学生が、自身の研究を素材に企業の方々と対話する活動を通じて、研究やキャリア形成の方向性に関する示唆を得て、行動に踏み出す機会として開催しています。

- 対象** 博士後期課程・ポストドクターの女子学生(専攻問わず)
※進学希望の博士前期課程・学部の学生はオブザーバーとして参加可

- 内容** ◎企業セミナー
◎学生によるプレゼンテーション・個別交流セッション
◎企業と学生との交流会



問い合わせ

お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター

E-mail docca-all@cc.ocha.ac.jp

WEB <https://www.cf.ocha.ac.jp/career/index.html>



東京外国語大学



東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

東京外国語大学MIRAI推進室では、大学院博士後期課程の大学院生を対象として、研究深化・キャリア開拓を支援する多文化共生イノベーション研究育成フェローシップ(MIRAI)を運用しています。

複雑に絡み合う社会の問題に対峙するため、大学における研究活動は社会の中で実践され、解決の糸口となることが求められています。「MIRAI」はそのような期待に応え、高度な専門性、研究能力をより広い文脈で活かす可能性を広げるための、総合的キャリア開拓支援を目指しています。



具体的な取り組み

研究力強化支援

MIRAIゼミ

- ◎オリエンティングセッション(4月、10月の初回)
- ◎学生主体のワークショップ(2週間に1回程度)

学会発表スキル強化

- ◎学会発表・要旨作成勉強会

キャリア開拓支援

- ◎先輩のキャリアをのぞいてみよう
- ◎社会に語りかける研究活動を考える
- ◎企業との交流会・キャリアプログラム受講制度

研究能力強化及びキャリア形成・開拓に対する多面的サポート、アドバイス

メンタリング

- ◎年2回のキャリアメンタリング
- ◎オフィスアワー

つながり、コミュニティづくり

- ◎研究・研究キャリア交流会

研究の社会実践・プロフェッショナル経験

学際的共同研究事業推進の実践経験

東京外国語大学内の学際研究共創センター(TReNDセンター)を活用した、研究会、勉強会の開催

- ◎TReNDセンターでの研究事業づくりへの参画
- ◎MIRAI共同研究の実践

異分野融合研究の探究

- ◎TReND研究会シリーズ

講師体験

- ◎体験授業(MIRAIトーク)

研究ポスター発表



問い合わせ

東京外国語大学 MIRAI推進室

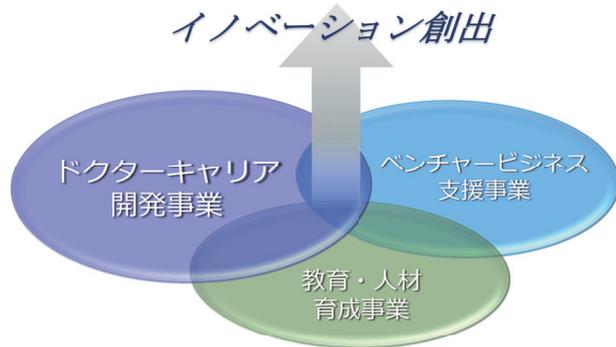
E-mail mirai-401@tufs.ac.jp

WEB <http://www.tufs.ac.jp/mirai/>



横浜国立大学

横浜国立大学では、研究を続けたいと考える学生が安心して博士課程（後期）に進学できるよう、学位取得後の進路を支援するドクターキャリア開発事業を行っています。これは、博士課程に進学した優秀な人材が、アカデミアだけでなく幅広く社会で活躍できるよう、社会や企業との橋渡しをするものです。進学後の多様なキャリアパスを提示することで、博士課程進学に対するハードルを下げ、進学者数の増加を促し、結果として高度教育人材の社会への輩出と人材の流動化により、科学技術イノベーションの創出につなげていきたいと考えています。



成長戦略教育研究センターの取り組む事業



具体的な取り組み

キャリア開発プログラム

当センターでは、博士人材と社会・企業を結ぶ架け橋としての交流イベント『キャリアパスフォーラム』の他、以下の支援プログラムを実施しています。

- 1 『ドクターキャリア相談室』
博士課程（後期）への進学や学位取得後の就職など、広く進路に関する相談を受けています。
- 2 メールマガジン『Dキャリア情報版』
博士人材のための就職情報やインターンシップ、セミナー情報などを登録者に対しメールマガジン（不定期）で配信しています。
- 3 その他、学内イベントやオンラインセミナーを開催しています。

学内イベント・セミナー開催実績

<学内限定>

- ◎「博士向けキャリア支援プログラム オンライン説明会」
- ◎「YNU博士のオンライン交流会」
- ◎「先輩博士の就活体験談 ～内定者に聞く～」
- ◎「博士のキャリアガイダンス」(外部講師)

<コンソーシアム共有>

- ◎「若手技術者が経験を語る～半導体関連メーカー特集～」（業界団体共催）
- ◎「業界研究セミナー」

などを開催しています。

キャリアパスフォーラム 対面

博士人材を求める企業と、企業への就職を希望する博士課程(後期)の学生が互いのマッチングを図る交流会です。(他大学生も参加可)

- 対象** 博士課程後期在籍者、ポスドク研究員
- 内容**
 - ◎ 博士のポスターセッション
 - ◎ 個別相談会
 - ◎ 事前情報提供
(博士向け：企業紹介動画視聴、企業向け：博士プレゼン資料閲覧)
- 参加企業/機関** 16～20社程度
- 募集定員** ポスター発表有り・無し合わせて50名程度

事前情報提供

企業紹介動画 / 博士プレゼン資料



各企業の紹介動画・資料を博士に、博士のプレゼン資料を企業に、それぞれの特設サイトにて事前に情報提供します。

当日(対面開催)

博士のポスターセッション



博士毎にプレゼン資料をポスターボードに掲示します。企業の方が周るので、研究内容・自己PR等についてディスカッションしてください。

個別相談会



企業毎に簡易的なブースを設けます。博士がブースを訪問し、質問・相談をすることができます。時間を区切って複数回行います。

問い合わせ

横浜国立大学 地域連携推進機構 成長戦略教育研究センター ドクターキャリア開発担当

TEL 045-339-4476 E-mail pdinfo@ynu.ac.jp

WEB <https://www.cseg.ynu.ac.jp/dcd/>

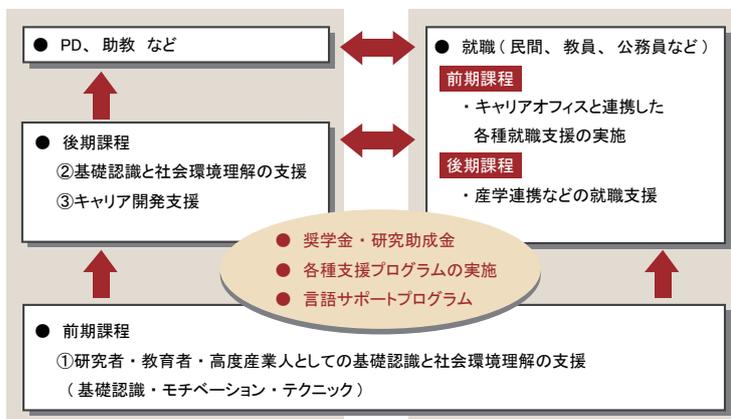


立命館大学



大学院生の学びに対して、2つの側面から支援を行っています。

立命館大学では、建学の精神と教学理念に基づき、若手研究者の育成を推進するために、大学院生に特化したキャリアパス支援を行う「大学院キャリアパス推進室」を設置しています。「大学院キャリアパス推進室」では、大学院生に対して、「奨学金・研究助成制度^{*1}」と「大学院キャリアパス支援プログラム^{*2}」の2つの側面から支援を行っています。



*1 授業料をはじめ研究活動を行うための経済的な支援 / *2 修了後のキャリア獲得につながるスキルアップ、知識をつけるための支援

具体的な取り組み

奨学金・研究助成制度

「国際学会で発表したい」、「海外で研究活動を行いたい」、「論文を刊行したい」など、研究活動を支援するために、様々な奨学金・研究助成制度を用意。

- * 博士課程院生 研究支援奨学金
年度単位での研究活動費用を支援。
- * 学生会奨学金
国際学会などでの研究発表を奨励（経費支援）。
- * 外国語論文投稿支援制度
外国語での論文投稿・校正費用を支援。
- * 研究会活動支援制度
所属研究科の枠を越えた横のつながりを形成してもらうための大学院生の自主的な研究会活動を経費・施設支援。

キャリアパス支援プログラム

研究を通じて培った専門性に加えて、各自が目指す修了後のキャリアに合わせたプログラムを用意し、トランスファラブルスキルの獲得を支援。

- * 企業・アカデミア就職キャリアガイダンス
大学院生と企業・アカデミアのマッチング実績の豊富なキャリアアドバイザーによる進路ガイダンス。
- * 大学教員準備セミナー
大学教員を目指す博士課程院生を対象とした授業方法論をはじめとしたワークショップや模擬授業からなるセミナー。
(2025年度からは研究科横断科目として展開予定)
- * その他セミナー

博士課程院生対象のフェローシッププログラム

本学は科学技術振興機構 (JST) 公募の「次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)」および「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業 次世代 AI 人材育成プログラム (BOOST)」に採択され、以下のフェローシッププログラムを展開。

- * RARA 学生フェローシッププログラム (RARA×SPRING)
博士課程院生が自らの専門研究分野を深めるだけでなく、分野を異にする他の研究者等との協働を通じてソーシャルインパクトを発揮することのできる「T型博士インパクトメーカー」を育成する支援プログラムを展開。
- * RARA 学生フェローシッププログラム (RARA×BOOST)
RARA×SPRING での支援に加えて、次世代 AI 技術を駆使して社会課題を解決できる能力を備えた次世代 AI 分野の博士人材を育成する支援プログラムを展開。

大学院生懇談会

その時のテーマに応じたゲストを学外から招き、大学院生との懇談会を実施し、大学院生が今後のキャリアを考えるきっかけや研究科を越えた大学院生同士のつながりを創出。

他組織との連携 京都クオリアフォーラム

京都・奈良に根ざす大学と企業が互いの垣根を越えた交流を通して、世界をリードする人材を輩出。企業技術者と大学院生との交流、博士キャリアメッセを実施。

中・長期研究インターンシップ

研究力を生かした企業へのインターンシップ派遣を推進。
ジョブ型研究インターンシップも活用

問い合わせ

立命館大学 大学院キャリアパス推進室 (RARAオフィス)

TEL 075-813-8560 E-mail ru-excel@st.ritsumeai.ac.jp

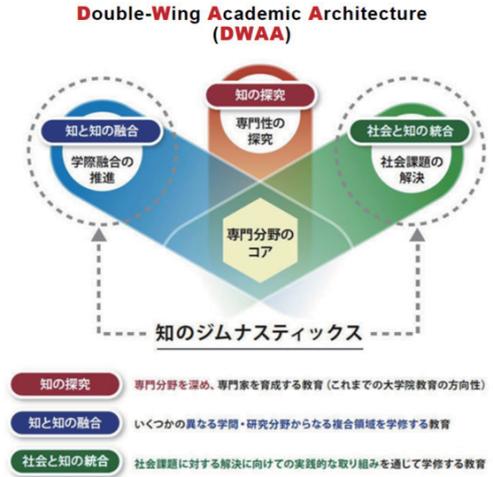
WEB http://www.ritsumeai.ac.jp/ru_gr/g-career/



大阪大学

学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム

大阪大学では新たな大学院教育としてアカデミアのみならず広く社会のイノベーション創出で活躍できる博士人材の育成を目標とした「学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム」(Double-Wing Academic Architecture: 通称 DWAA) を推進しています。ここでは、従来型の知を深く探究する教育、知と知を融合する教育、社会と知を統合する教育を行い、ちょうど鳥が両翼を広げたような幅広い人材育成が行われています。キャリアセンターは社会と知を統合するキャリアデザイン教育を担っており、変容する社会課題に迅速に対応し未来社会を創造できる人材育成を目指しています。



具体的な取り組み

大阪大学ではキャリアセンターが全学的な立場からキャリア教育・就職支援を推進しています。学年・所属(学部・研究科)を問わず、学部生から博士後期課程の大学院生まで含めた全学生を対象として、様々な取組が行われています。博士課程大学院生やポスドクのキャリア・就職支援を担当する教職員を対象にしたFDセミナーも実施しています。

大学院生向けキャリア教育科目

- 「次世代キャリアデザイン論 A」
- 「次世代キャリアデザイン論 B」
- 「現代キャリアデザイン特論」

教職員向けFDセミナー

- 「ポスドク・博士課程学生のキャリア・就職支援【知識編】」
- 「ポスドク・博士課程学生のキャリア・就職支援【指導編】」

大学院生向け就職支援イベント

- 「博士のための就職ガイダンス」
- 「大阪大学 Career Fair」

企業採用担当者向けイベント

- 「大阪大学 Career Fair」
- 「大阪大学キャリアフォーラム」



博士のための就職ガイダンス **オンライン**

民間企業に就職を希望する博士人材のための就職ガイダンスです。他キャンパスの学生やコアタイムは実験等に從事する必要がある理系学生でも参加しやすいように、オンラインで夜の時間帯に開催しています。

大阪大学 Career Fair **オンライン**

民間企業に就職を希望する博士後期課程大学院生と博士人材を採用したい企業のマッチングイベントです。メタバース空間で参加者が自由に動き回れる「oVice」というシステムを使ってオンライン開催しています。

問い合わせ

大阪大学キャリアセンター

TEL 吹田キャンパス 06-6879-7087 / 豊中キャンパス 06-6850-6115

E-mail office@career.osaka-u.ac.jp WEB https://career.osaka-u.ac.jp/





神戸大学

神戸大学では神戸大学大学院博士支援推進室で博士人材の支援を担当しています。人文・人間科学系、社会科学系、自然科学系、生命医学系の4大学術系列からなる総合大学の強みを活かし、教育・研究・キャリア支援からなる神戸大学博士学生支援総合パッケージを整備しています。キャリアガイダンスやジェネリクススキルセミナーなどの基礎プログラムや博士人材と企業の交流会や異分野の学生が集う異分野共創研究発表会などの実践プログラムを通して、多様な分野で活躍できる博士人材の育成を推進しています。



博士学生キャリア支援プログラム

博士学生に対する **サポート体制**

- ・SPRING制度 - 研究支援-
- ・BOOST制度 - 研究支援-
- ・個別面談 - 就職支援-

知識と実力を身に付ける **基礎プログラム**

- ・キャリアガイダンス
- ・博士のためのキャリアガイダンス
- ・業界別ガイダンス
- ・OB博士のトークセッション
- ・ジェネリクススキルセミナー
- ・英語論文執筆セミナー
- ・外部資金獲得セミナー
- ・エントリーシート書き方セミナー

アウトプットと実践を重視 **実践プログラム**

- ・研究インターンシップ
- ・博士と企業の交流会
- ・異分野共創研究発表会
- ・ノーブル賞
- ・就職支援プログラム
- ・大規模就職講座

STEP UP!

具体的な取り組み

博士と企業の交流会

博士学生が専門性や人物像を企業の方にプレゼンし、企業の方と密に交流する交流会を実施しています。企業の研究開発について理解を深めることや、企業活動の面白さを知ることで、自らの視野が広がります。また、プレゼン資料の作成や発表を通して、将来自分がやりたい事や自分の強みを明らかにすることを目指します。

博士の多様なキャリアを知るセミナー

企業人だけでなく、アカデミアや公務員など博士の多様なロールモデルを知る機会を提供しています。

異分野共創研究発表会

本学15研究科の学生が一堂に会する機会として、異分野共創研究発表会を開催しています。本研究会では、様々な研究背景を持った研究者・学生が参加することにより、自らを切磋琢磨し、多様な価値観や意見を取り入れ、自身の研究とは異なる分野の研究者への説明能力を鍛えます。

企業活動を理解するワークショップ

企業の多種多様な業務を体験し、文理を超えてチームで成果を創り上げるワークショップを開催しています。チーム内での自分の役割や立ち位置を客観視し、自己理解につなげます。

博士と企業の交流会 対面

多くの企業と交流を通し異分野に触れ、研究の視野を広め、就職に繋ぐ機会。

博士と企業の交流会

09.28 Wednesday
10:00~17:00

神戸大学百年記念館
六甲館-丸・東ウィエ

【STEP1】 企業・学内での事前準備
【STEP2】 交流会当日の準備
【STEP3】 交流会に参加する

交流会に参加する
①参加企業による企業説明
②学生の自己紹介
③企業との質疑

【STEP4】 交流会後のフォローアップ

異分野共創研究発表会 オンライン

様々な研究背景を持った研究者・学生が参加することにより、自らを切磋琢磨し、多様な価値観や意見を取り入れ、自身の研究とは異なる分野の研究者への説明能力を向上する機会。

異分野共創研究発表会 #6

発表日	時間	発表形式
1	10:00~12:30	オンライン
2	2022/09/08 (日)	15:00~17:30 オンライン
3	10:00~12:30	オンライン
4	2022/09/10 (火)	13:30~16:00 対面
5	10:00~12:30	オンライン
6	2022/09/12 (木)	13:30~16:00 対面
7	10:00~12:30	オンライン
8	2022/09/13 (金)	13:30~16:00 オンライン
9	2022/09/19 (日)	10:00~12:30 オンライン

発表形式：対面・オンライン
発表形式：対面・オンライン

発表者：博士学生、教員、企業関係者
発表テーマ：異分野共創研究発表会

発表者：博士学生、教員、企業関係者
発表テーマ：異分野共創研究発表会

発表者：博士学生、教員、企業関係者
発表テーマ：異分野共創研究発表会

問い合わせ

神戸大学大学院博士支援推進室

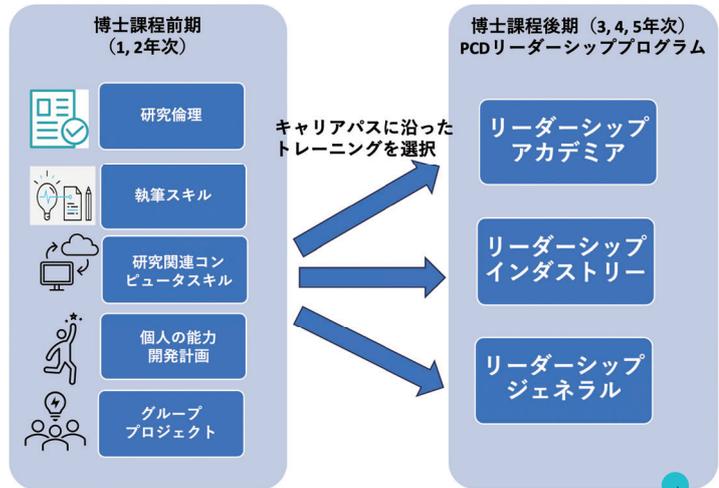
TEL 078-803-5217 E-mail crct-hakase@edu.kobe-u.ac.jp

WEB http://www.career.kobe-u.ac.jp/doctor_info/



沖縄科学技術大学院大学

本学では、世界トップクラスの研究者を育成するとともに、地域貢献志向型の人材を輩出することを目的としております。博士課程前期では研究者として必要となる基本スキル向上に加え、地域理解および地域交流・地域貢献にフォーカスした授業を提供しております。博士課程後期では、学生のキャリアパスに沿ったスキルトレーニングを提供しており、アカデミアまたは企業就職希望のキャリアパスにおける支援体制を設けております。



具体的な取り組み

博士課程《前期》

研究倫理

3段階研修: オンラインラーニング、対面型ワークショップ、オープンフォーラム

執筆スキル

各学生のニーズに沿ったカスタマイズのオンラインおよび対面のスキルトレーニング

研究関連コンピュータスキル

各学生のニーズに沿ったカスタマイズのオンライントレーニング

個人の能力開発計画

意識付け、個別面談

グループプロジェクト

学生主体。サイエンスコミュニケーション力およびチームコミュニケーション力向上、地域課題解決型



博士課程《後期》

リーダーシッププログラム 全学生共通必須トピック

- ・リーダーシップ論 (必須)
- ・コミュニケーション力 (必須)
- ・パブリックスピーキング力 (必須)

リーダーシップアカデミアキャリアパス向けトピック

- ・助成金申請 書き方セミナー (必須)
- ・教授法研修プログラム (必須)
- ・プロフェッショナルネットワーク
- ・サイエンスコミュニケーションセミナー
- ・プレゼンテーションスキルワークショップ
- ・研究室インターンシップ



リーダーシップインダストリーキャリアパス向けトピック

- ・ビジネス基礎セミナー (必須)
- ・課題発見・解決力セミナー (必須)
- ・プロフェッショナルネットワーク
- ・個別企業説明会/キャリアフェア
- ・アントレプレナーシップトレーニング
- ・CV/カバーレター書き方ワークショップ
- ・企業インターンシップ



リーダーシップジェネラル (キャリア選択未定の学生)

アカデミアまたはインダストリーから選択してカスタマイズ

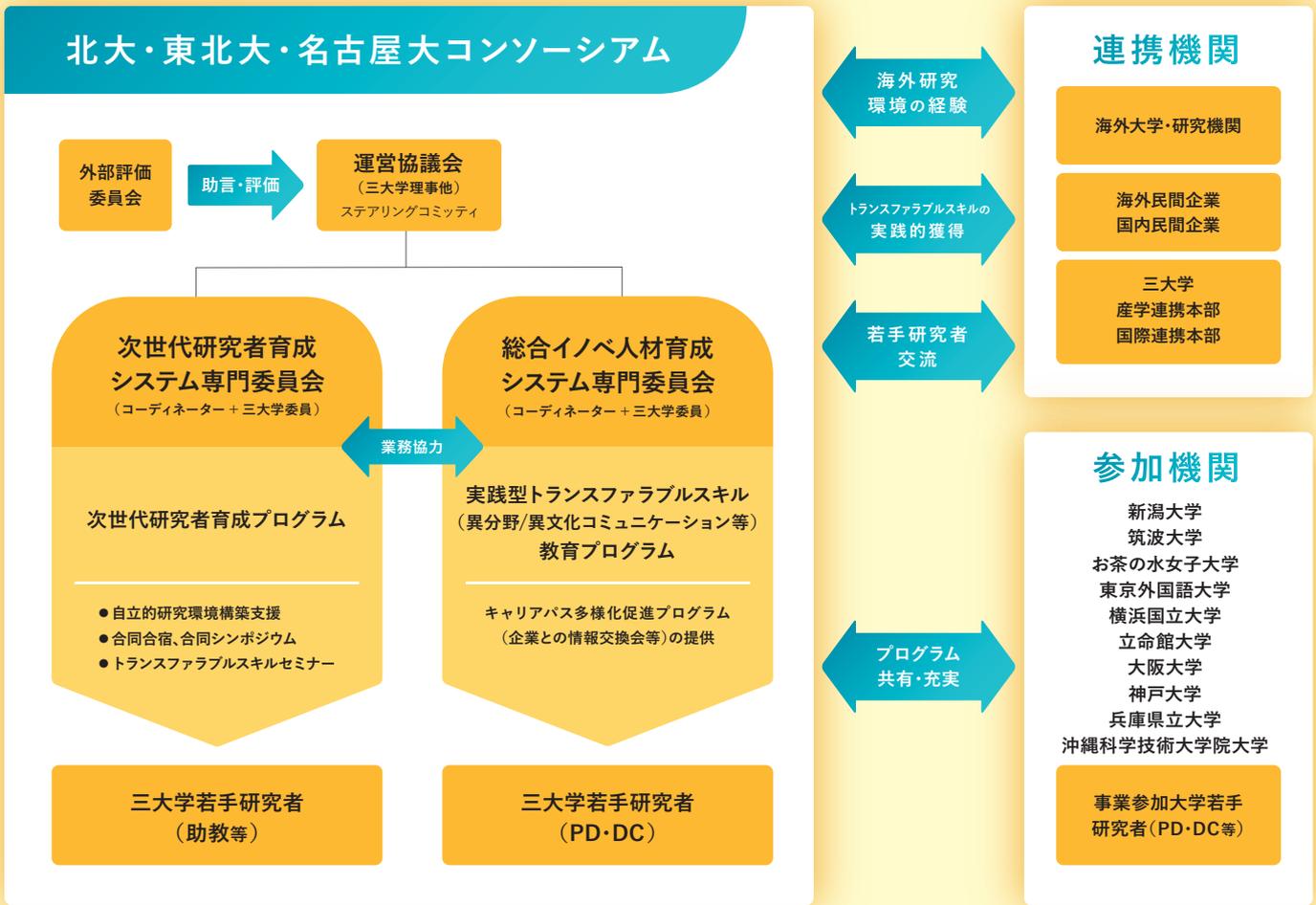
問い合わせ

沖縄科学技術大学院大学 研究科長オフィス カリキュラム&プログラムセクション

TEL 098-966-2194 E-mail gscareer@oist.jp

WEB <https://www.oist.jp/>





コンソーシアムについて

本コンソーシアムは、北海道大学が代表機関として東北大学、名古屋大学とともに文部科学省「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業（次世代研究者育成プログラム）」に申請・採択され、平成26年度にスタートした事業です。発足後、新たに10大学が参加し、国公私立13大学が、互いの研究人材育成資源を結集して、多様な分野を対象にした次世代研究人材育成システムの構築を推進しています。

コンソーシアムの構想

博士人材育成を重要事項として推進する連携機関が一体となり、13大学が実施するトランスファラブルスキル向上プログラムや企業と博士人材のマッチングイベント等の資源を共有します。連携機関は地理的に離れていますが、対面およびオンラインで交流することにより、博士人材が多様なキャリアパスを選択できる共通の博士人材育成プラットフォームを構築しています。今後も持続的に各大学が持つプログラムの共有・共催、博士人材育成の課題共有などを推進することに加え、コンソーシアムとしての合同プログラムを実施することにより、さらに充実した活動を目指します。

コンソーシアムとしての人材育成の方針と理念

13大学が、これまでの人材育成に関するノウハウの蓄積と資源を効果的に共有し、博士人材の自立的なキャリアパス多様化を一層促進させるとともに、国内外、アカデミア、産業界の多様な場において、その真価を発揮するための素養、即ち、国際性とトランスファラブルスキルを備えた次世代を担う人材の育成を行います。また、この活動を通じて、博士人材を育成する人材も育成します。





日本の競争力強化に向けて

北海道大学は文科省が平成26年から始めた「科学技術人材のコンソーシアムの構築事業」の下で、東北大学、名古屋大学と共同して博士研究人材育成を目的としたコンソーシアムを立ち上げ、連携プログラムの開発と若手研究人材育成に取り組んで参りました。

人材育成の仕組みは短期間で構築できるものではありません。コンソーシアムを設立した3大学の強みは、これまで高い評価を受けてきた人材育成事業でのノウハウの蓄積があることです。各大学が独自に築いてきた、経験に基づく仕組みがあるからこそコンソーシアム事業で連携することにより、一層の相乗効果を得ることができました。

博士人材の育成においては、各大学が保有するトランスファラブルスキル向上プログラムやキャリアパス多様化プログラムの共有、博士人材が抱える問題点の討議等を地理的に離れた大学が実施できる仕組みに発展させることができました。

そして、各大学が連携して博士人材を効率的かつ効果的に育成するこの活動に共感した国公立10大学がコンソーシアムに加わり、文科省による事業が終了する令和3年度には日本の博士号授与シェアが1/4に達する規模にまで発展いたしました。令和4年度からは「博士人材育成コンソーシアム」として、13大学が協力し、従来のプログラムやノウハウの共有に加えて、コンソーシアムとしての独自プログラムも実施いたします。

将来を担う博士人材を育成するため、今後も各大学が持つ特色を活かした連携活動を推進する所存でございます。皆様の変わらぬご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

運営協議会委員長
北海道大学 理事・副学長

山本文彦



東北大学

TOHOKU UNIVERSITY

13大学協調による若手研究人材育成をめざして

東北大学

理事・副学長 (研究担当) 小谷 元子

平成26年度から令和3年度までの8年間、北海道大学、名古屋大学と本学が連携して、「科学技術人材育成のコンソーシアム構築事業」が実施されました。この事業は、「複数の大学が連携してコンソーシアムを形成し、若手研究者や研究支援人材に対して、流動性を高めつつ、安定的な雇用を確保するために、国内外の研究機関、企業等とも連携してキャリアアップを図る仕組みを構築し、海外や企業を含めた多様な場で活躍する研究者と高度な研究支援人材を育成する」ことを目的として行われ、多くの研究人材を世に送り出して参りました。令和4年度からは本事業の成果を今後も活かしながらさらに発展させるために、独自のプログラムとして継続することとなりました。

東北大学における博士後期課程学生やPDを対象とする人材育成プログラムは、大学院共通科目「博士リテラシーの基

礎」の開講や、博士と企業のマッチングイベントである「ジョブフェア」の実施など様々な取り組みを通して、キャリアに関する教育と支援の両面をカバーする形で進められております。これまで北海道大学、名古屋大学とこのような各種プログラムを相互に共有しながら連携して参りましたが、このたび連携大学が10校増えて13大学となることにより、各大学の持つ強みを生かし、かつ相互に補完することによって、研究人材育成環境をさらに強化することに繋がるものと考えております。

また、本プログラムに参加される博士学生・ポスドクの皆さんには、それぞれが自分のスキルアップを図り、世界に羽ばたく研究者として成長されることを期待しております。

今後の本プログラムの発展・展開に向けて皆様のご理解・ご協力・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



名古屋大学

NAGOYA UNIVERSITY

博士人材育成コンソーシアムの設立から成果創出へ

名古屋大学

副総長 (研究担当) 山中 宏二

本学は、北海道大学・東北大学とコンソーシアムを設立し、三大学が保有する充実した研究環境および人材育成のための資源を共有して人材育成プラットフォームの構築をめざしてきました。

本コンソーシアムでは、博士人材の多様なキャリアパス促進のために、インターンシップやキャリアパス支援を充実させて、イノベーション創出博士人材を多数育成してきました。また、本コンソーシアムが発展し、3大学から今や13大学が連携する仕組みに拡大されたことは大きな成果です。

本コンソーシアム事業における取り組みは、名古屋大学が人材育成目標として常に掲げる「勇気ある知識人の育成」にも合致したものです。コンソーシアム内の連携大学で共有する

キャリアパス多様化支援プログラムにより、個別面談、セミナー、企業等へのインターンシップや企業と出会う機会でもある「企業と博士人材の交流会」を通じて異分野・異文化コミュニケーション能力を育み、博士人材のキャリア開拓を支援しています。

本コンソーシアム事業のもと、博士人材が連携大学で行われる各種のプログラムを利用することで機会や人脈を広げ、さまざまな分野で国際的に活躍してくれると大いに期待しております。博士人材にとってこのコンソーシアムを通じて築いたキャリアパスやネットワークは一生の財産となり、その後のキャリア形成の強い礎となるものと確信します。

お問い合わせ総合窓口

北海道大学 大学院教育推進機構 先端人材育成センター
連携型博士研究人材育成推進部門 COFRE

TEL 011-706-3195

E-mail cofre@synfoster.hokudai.ac.jp